

記者発表（資料配布）				
月／日 (曜日)	担当部署名	電話番号 (ダイヤル)	発表者名 (担当名)	その他 配布先
7 / 5 (水) 10:00	県立考古博物館 企画広報課	(079)437-5589	事業部長 平田 博幸 (学芸課長 藤田 淳)	但馬県民局

**平成 29 年度ふるさと発掘展  
「ASAGO の「カントリーロード」～ひとの道・モノの道～」の開催について**

県立考古博物館は、県内の博物館や資料館と連携して、総合的な埋蔵文化財活用事業として「ふるさと発掘展」を開催しています。

今年度、「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」が日本遺産に認定されたことを記念して、朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」と共催で展覧会を開催します。

「道」を朝来市を紐解くキーワードに、人々が時代ともに選び・守り伝えてきた朝来の歴史と文化を紹介します。

会 期：平成 29 年 7 月 8 日（土）～10 月 9 日（月祝）

会 場：朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」特別展示室  
(朝来市山東町大月 91-2)

オープニングセレモニー

日 時：平成 29 年 7 月 8 日（土）午前 10 時～

場 所：朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」  
(朝来市山東町大月 91-2)

## 平成 29 年度ふるさと発掘展

### 「ASAGO の「カントリーロード」～ひとの道・モノの道～」

この春、「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」が日本遺産に認定されました。本展では、朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」を会場に、朝来市の歴史を紐解くキーワード「道」に焦点をあてます。

会 期 平成 29 年 7 月 8 日（土）～平成 29 年 10 月 9 日（月祝）  
会 場 朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」（朝来市山東町大月 91-2）  
主 催 兵庫県立考古博物館、朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」  
後 援 兵庫県 兵庫県教育委員会

#### 《概要》

「道」は、朝来市の歴史を紐解くキーワード。古代には【都と地方を結ぶ国道と支線】、中世には【生野銀山と天下掌握への道】、近代には【官営鉱山・生野を起点とする日本初の高規格産業用道路】を人とモノが駆け、国の発展に影響を与えました。また、近世には流人とその家族が選んだ道が、時を超える遠距離地域間の交流を生み出しました。本展では、朝来の人が時代とともに選び・守り伝えてきた「道」を紹介します。

#### ◆シリーズ講座

会場：朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」体験学習室  
時間：いずれも 13:30～15:00 定員：50 名 参加無料（事前申込み不要）  
7 月 23 日（日）講師：市 大樹（大阪大学文学部 准教授）  
7 月 30 日（日）講師：竹内 亮（花園大学文学部 専任講師）  
8 月 20 日（日）講師：松見裕二（壱岐市立一支国博物館 学芸員）  
8 月 27 日（日）講師：柏原正民（兵庫県教育委員会事務局文化財課 主幹）

#### ◆体験学習「弥兵衛も眺めた!?壱岐の鬼尻に色を塗ろう！」

会場：朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」体験学習室  
日時：8 月 19 日（土）【午前】9 時～11 時【午後】1 時～3 時  
定員：午前・午後 各先着 10 名（事前申込み不要） 参加費：500 円

#### ◆見学会「銀の馬車道を巡ってみよう！」

内容：朝来市に残る鉱石の道関連遺産および神河町の「馬車道」を見学します。  
日時：8 月 6 日（日）午前 9 時～午後 5 時  
集合・解散場所：朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」  
定員：20 名（要事前予約） 参加費：1000 円

※詳細はチラシをごらんください。

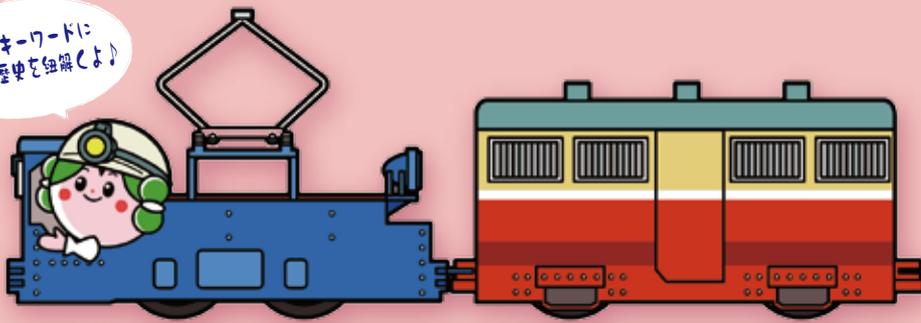
問い合わせ

兵庫県立考古博物館 学芸課 担当：松井 良祐（まつい りょうすけ）

TEL 079-437-5562（学芸課直通）



「道」をキーワードに  
朝来の歴史を紐解くよ!



鉱石と人を運ぶもの (明神電車)



歴史のKOMICHI (竹田・寺町通)



ENISHIの道を往く者  
(心諒尼肖像 水月院所蔵)



IKUNO 郷土愛の結晶 (旧吉川邸)



RAIL ROAD (山陰本線和田山駅機関庫)  
(撮影:佐藤真悟氏)

平成29年度 兵庫県立考古博物館 ふるさと発掘展×朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」特別展  
日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」認定記念

# A・S・A・G・Oの カントリィーロード

~ひとの道・モノの道~

2017.07.08(Sat.)-10.09(Mon.)



大坂へとつづく、銀の道  
(『但州生野銀山絵巻』生野書院所蔵)



MONONOFUたちの拠点  
(雲海に浮かぶ「竹田城跡」撮影:吉田利栄氏)



KODAIの国道跡 (古代官道「但馬道」)  
兵庫県立考古博物館所蔵写真



ASAGO 鉱石の道の一大拠点 (種子畑選鉱場跡)

## 朝来市埋蔵文化財センター 古代あさご館

〒669-5153 兵庫県朝来市山東町大月 91番地 2  
TEL:079-670-7330 FAX:079-670-7333  
ホームページ: <http://www.city.asago.hyogo.jp/>

- 開館時間: 9時~17時 (入館は16時30分まで)
- 休館日: 月曜日 (祝休日にあたる場合は翌平日)
- 特別展観覧料: 100円 (小中学生以下・65歳以上・障がい者手帳をお持ちの方は無料、障がい者および小中学生の引率者は免除団体割引あり(20名以上1割引))

- 主催: 兵庫県立考古博物館・朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」
- 後援: 兵庫県・兵庫県教育委員会

★お問い合わせは、展示会場の古代あさご館まで。





平成29年度 兵庫県立考古博物館 ふるさと発掘展×朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」特別展  
 — 日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」認定記念 —

# A・S・A・G・Oの **カントリーロード**

～ひとの道・モノの道～

2017.07.08(Sat.)-10.09(Mon.)



「道」は朝来市の歴史を紐解くキーワード。古代には【都と地方を結ぶ国道と支線】、中世には【生野銀山と天下掌握への道】近代には【官営鉱山・生野を起点とする日本初の高規格産業用道路】を人とモノが駆け、国の発展に影響を与えました。また、近世には流人とその家族が選んだ道が時を超え、遠距離地域間の交流を生み出しました。本展では、朝来の人が時代とともに選び・守り伝えてきた「道」を紹介します。

## 体験してみよう

予約不要 午前・午後 各先着 10名

### 弥兵衛も眺めた!? 壱岐の鬼凧に色を塗ろう!

と き：8月19日(土)

午前 9時～11時

午後 1時～3時

ところ：「古代あさご館」体験学習室

参加費：500円(材料・写真用紙代)

講師：稲津賢和氏  
(朝来市文化財保護審議委員)

内容：本展の主演の一人・小山弥兵衛が暮らした壱岐の伝統的な玩具・魔除けである鬼凧。自分で彩色した鬼凧で自宅を守りましょう!



要予約・定員 20名

### マイクロバスで銀の馬車道を巡ってみよう!

と き：平成29年8月6日(日)

午前9時(集合・出発)～午後5時(解散)

集合場所：「古代あさご館」エントランス

参加費：1,000円(昼食代)

持物：汚れてもよい服装でお越しください

行先：神子畑・羽淵鉄橋、神河町内に残る馬車道、生野町口銀谷地区ほか

申込み：「古代あさご館」へ  
電話・FAX または、窓口にて事前申し込み下さい



平成29年度 生野書院企画展

お雇い外国人ー日本の近代化を支えた人たちー

会期：平成29年7月1日(土)～9月3日(日)

時間：午前9時30分～午後4時30分

休館日：月曜日(7月17日は開館・翌日18日は休館)

問合せ：〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷 356-1  
TEL:079-679-4336

## 朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」 壱岐市立 一支国博物館 あんてなミュージアムショップ

朝来市の友好都市・長崎県壱岐市って、どんなところ? その歴史文化を紹介するために、古代あさご館に壱岐市立一支国博物館のミュージアムショップがやってきます! お気に入りのグッズを見つけて下さいね♪

## シリーズ講座のご案内

いずれの講座も、定員 50名、開催場所は古代あさご館「体験学習室」です。

① 7月23日(日) 午後1時30分～3時

【講師と演題】市 大樹氏(大阪大学)

### 「日本古代の都鄙間交通と但馬国」

但馬の古代官道や官衙遺跡などを題材にした、古代の地方政治・交通史の総論です。

② 7月30日(日) 午後1時30分～3時

【講師と演題】竹内 亮氏(花園大学)

### 「地方文化拠点としての古代駅家」

古代のSA(駅家跡)・朝来市山東町の柴遺跡文字資料などから、地方社会における文字文化発信拠点としての駅家の姿に迫ります。

③ 8月20日(日) 午後1時30分～3時

【講師と演題】松見裕二氏(壱岐市立一支国博物館)

### 「朝来から壱岐へ

### ～流人・小山弥兵衛がきたふたつの故郷～」

小山弥兵衛と孫娘・全鏡が結んだ縁の道。その起着点である朝来と壱岐島の歴史文化を比較しながら紹介します。

④ 8月27日(日) 午後1時30分～3時

【講師と演題】柏原正民氏(兵庫県教育委員会)

### 「馬車の道・鉄の道～2つの道が運んだもの～」

日本の近代化・経済成長を支えた2種の鉱山と道。その沿線で育まれてきた歴史文化を紹介します。

◆朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」へのアクセス

